

株式会社オハラ (津幡工場)

石川県河北郡/食料品製造業
<https://www.ohr.co.jp/>

令和3年度事業

補助対象経費	1,195万円
補助金	464万円

事業概要

株式会社オハラは、こんにやく、カップデザート、農産物一次加工品の製造販売と、技術力を生かして商品開発から携わるOEM事業を柱とする会社です。地元農産物である五郎島金時の焼芋ペーストへの加工業務などが評価され、2017年に経済産業省に地域未来牽引企業として認定されました。



省エネ診断を受診したことをきっかけに、エネルギー消費量の多い蒸気ボイラとコンデンシングユニットを高効率の設備へ更新し、省エネを実現しました。

事業者メッセージ

省エネルギーの診断を受け、使用しているボイラの燃焼効率が悪いこと、さらにはメーカーをばらばらにしていたため効率の良い運転をしていなかったことが判明しました。そこで今回の補助金の件を受け、効率のよいボイラにすることで、メーカーを揃えることで制御し効率化を目指しました。また、診断で冷蔵冷凍機も年数の経過により効率が悪くなっていることが判明しそちらもインバーター制御されたものに変更することで効率化を目指しました。補助金のおかげで機器の更新ができエネルギー効率も良くなりました。年間でランニングコスト削減ができ感謝しております。

省エネ効果

エネルギー使用量	省エネルギー量	補助対象設備の省エネルギー率
	27.5 (kl/年)	23.6 %
	削減コスト	CO ₂ 削減効果
116.5 (kl/年)	257 (万円/年)	64.8 (t-CO ₂ /年)

※ 削減コストは、電力利用額：1 kWh当たり20円、A重油利用額：1L当たり998円を乗じた値

省エネのPOINT

省エネ診断で工場全体のエネルギーバランスを把握

省エネ診断時の津幡工場の設備ごとのエネルギー使用割合

2020年に省エネ診断を受診。エネルギー消費量の上位を占めていた蒸気ボイラとコンデンシングユニットを省エネ性能の高い設備へ更新することに。

更新設備	更新内容	省エネルギー量
A重油焚きボイラ (1台)	ボイラ効率の高い機器へ更新	13.7 (kl/年)

食品加工に不可欠な殺菌、冷蔵冷凍の設備を更新し、効果的に省エネを実現

(例) 焼き芋ペーストの製造工程

更新設備	更新内容	省エネルギー量
コンデンシングユニット (3台)	冷凍能力の高い機器へ更新	13.8 (kl/年)

導入設備

1. 高性能ボイラ

種別	ボイラ効率	蒸発量	台数
蒸気ボイラ	97.0 %	2,000kg/h	1台

2. 冷凍冷蔵設備

種別	成績係数 (COP)	呼称出力	台数
コンデンシングユニット	1.02	5.00 kW	1台
	0.99	7.00 kW	1台
	0.95	14.60 kW	1台

